農業してみん？

研修生 随時募集

芸西村は高知市から東方へ約 30 kmに位置し、南は太平洋に面し周りは台地や山に囲まれた総面積 40ｋ㎡足らずの小さな村。太平洋の黒潮の影響を受け、温暖な気候や長い日照時間を利用し、昔から施設園芸が盛んな地域です。小さくても元気で輝く村をスローガンに頑張っています。

意欲ある方の就農を応援します！！

要件

・これまでに就農の経験がなく独立自営就農する決意があること

・15 歳以上、おおむね 50 歳までであること

・就農時には芸西村内に居住すること

・就農後収入を得るまでに必要な運転資金等を自己で確保できていること（500 万円程度）　　など

支援内容

・県農業担い手育成センター及び村内指導農家の基で実践的な研修支援

・研修期間中は研修助成金として 180 万円/年を支援（最長 2 年間）

・就農後は、経営支援として 150 万円以内/年を助成（最長 5 年間）

・その他、農地・施設・住宅の情報提供や就農計画の助言　など

研修対象の品目等

・施設園芸（ナス、ピーマン）

募集人数

・若干名

例）就農までの流れ（新規：Ｉターン就農）

就農相談 → 基礎研修（四万十町）県・担い手育成センター（3 ヶ月以上） → 農家実践研修（芸西村）（9 ヶ月～1 年 9 ヶ月） → 就農準備（2～6 ヶ月） → 就農

研修 1～2 年間

例）就農までの流れ（親元：Ｕターン就農）

就農相談 → 経営レベルアップ研修（四万十町）県・担い手育成センター（３ヶ月以上） → 親元就農後１年以内（芸西村）（研修期間１年） → 経営継承又は独立自営

新規就農者から

市川　大助さん（高知市出身）

他産業で働いていたが、農業にチャレンジしようと思い立ち就農を決意。雇われて農業をするより自立した農業経営をしたいと思い研修事業に応募。２年間の実践研修を経て中古ハウス 18ａでＨ28 年に経営開始（促成ナス）。さらにＨ30 年にハウスを整備し規模拡大を図り、現在 38ａを経営。日々奮闘中!!

一番は農業がやりたいという熱意と前向きな気持ちが大事。農地・ハウスの情報を教えてもらうためにも地域との繋がりが大事と思います。新たに来た人が信用できるかを周囲も見ているので、まじめに取り組み、地域の行事や活動に参加して信用してもらうことが大事と思いました。資金や技術など不安なことが多くありますが、熱意をもって努力すれば成功するという前向きな気持ちで

芸西村はこんなところ

人口：3,761 人（H31.3.31）

世帯：1,739 戸

販売農家戸数：258 戸（2015 年農業センサス）

農業者の割合：43%（H20 年国勢調査）

ナス生産量県下 2 位（高知県の園芸 30 年産）

ピーマン生産量県下 2 位（高知県の園芸 30 年産）

教育施設等：保育所１・幼稚園１・小学校１・中学校１

医療施設等：病院１・診療所 2・歯科医院１

その他施設：スーパー、ホームセンター、コンビニ 3、ホテル、ゴルフ場

陸上競技場、地場産品直販所

子育て支援：幼稚園から中学校まで完全給食（幼稚園は給食無料）

保育所・幼稚園の延長保育（7：30～18：45）、病児病後児保育、高校生までの医療費無料など

受入農家から

高松　伸夫さん（指導農業士）

施設ナス・水稲を経営

指導農業士　（H26・27 年度会長）

ひとこと

とにかくやる気のある人に来てもらいたい！

ここで農業をしたい熱意が伝わればそれに応えたい！地域・組織の活動に参加し、コミュニティを活用することが就農への近道となると思います。少ないチャンスをつかむため日々の努力が大切。

就農へのポイント

施設園芸が盛んな当村は、とにもかくにも施設を確保しないと就農になりません。そのためには地域に溶け込み信用を得ることが大切です。地域と繋がりを持ち、信用を得ることで農地・施設の確保が容易になるだけでなく、その後の営農活動の助けになります。地域やグループ・組織などと交流を深め、信頼できる仲間を増やして楽しい農業ラ

問合せ先
芸西村担い手育成総合支援協議会
（事務局：芸西村産業振興課）
〒781-5792
高知県安芸郡芸西村和食甲 1262 番地
TEL0887-33-2113　Fax0887-33-4035
e-mail　sangyo@vill.geisei.lg.jp